

# 学年末考査が近づいてきました。

文責 学校長



## ～14日間の計画的な学習を～

### 1 学年末考査まで2週間余りとなりました。1・2年生は早めの準備と計画的な学習を。

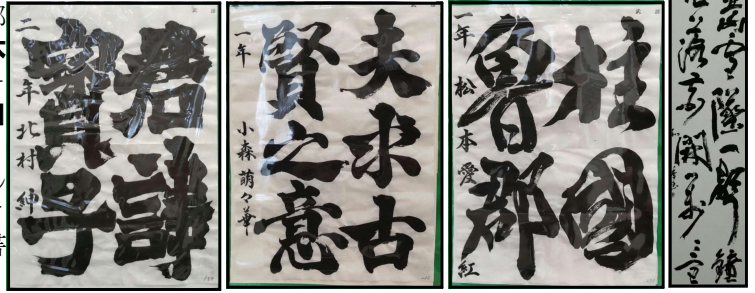
2月16日(木)から学年末考査が実施されます。中間・期末2回分の重みのある定期考査です。試験範囲も広いと思われるので、早めに考査のための計画的な学習をスタートさせましょう。今年度を締めくくる考査で君たちの1年間の努力の成果が結実することを期待します。

### 2 中高合同探究発表会を行いました。・・・オンライン開催となりました。

1月26日(木)に武雄青陵中学校との「中高合同『探究』発表会」を実施しました。コロナ禍のために昨年と同様にそれぞれの学校からのオンライン配信での開催となりました。武雄高校の発表は、1年生が①『公園と子どもの体力』②『起業』、2年生が①『裁判員制度について』②『コロナウイルスとの向き合い方』、高校生のまちづくり参画事業の活動報告として①『若い世代に高い防災意識を』②『伝統行事の発信』についてをテーマにそれぞれ発表を行いました。中高ともに校内での予選を通過したグループの発表でいずれも見事な発表でした。

### 3 書道部の生徒の作品が臨書展で上位入賞を果たしました。

「第47回佐賀県高等学校臨書展」において、本校書道部の北村紳くん(2-6)、小森萌々華さん(1-2)、松本愛紅さん(1-1)の作品が特選に、織田咲来さん(2-3)、蒲原柚葉さん(1-6)、古川圓さん(1-6)、山口悠衣さん(1-5)の作品が奨励賞に輝きました。また、授業生徒の部では、原口真央さん(2-6)、蒲地悠人くん(1-1)、八谷舞咲さん(1-1)の作品が優秀賞に輝きました。右は特選の3名の作品です。同時に開催された「書道教師展」の山浦先生の作品も掲載しています。



### 4 今週の名言・・・武者小路実篤の言葉です。

**私の選んだこの生き方こそが私を生かしてくれる道ではないか。あれこれ迷わず、この選んだ人生をしっかりと励み、前進していこうではないか。**

【解説】『お目出たき人』・『友情』・『人間万歳』などを著し、人道主義文学を創造した作家・武者小路実篤の言葉です。我々の人生にはいろいろな道があり、人生の岐路で様々な選択の機会があり、そこでどの道を選ぶかによって人生は変わってきます。諸君もこれまで、自分で選択して今の道を選んだはずだし、これからも自分で決めて人生を歩んでいくことになるはずです。自分で決めたのが、今歩いている高校生活であるし、他にもない君自身の人生であるはず。あれこれと悩み迷うこともあるでしょう。しかし、自分が正しいと思って決めた生き方ですし、進路であるはず。とことんその道を進んでいってほしい。そこで壁にぶつかったとしても、逃げることなくその壁を乗り越えてほしい。もちろん回り道が必要などときには、それもいいでしょう。しかし、それも自分が決めた道です。だから後悔せずにひたすら前へ進むのみです。どこかに必ず突破口はあります。悩んで苦勞してそこを突き抜けることにこそ喜びはあるはず。他人があれこれ言って気にせず、言わせておけばいいのではないのでしょうか。自分の道は結局、自分にしかわからない。自分にしか責任もとれない。だから自分が選んだ人生を自分の努力で一番にするべく歩んでいくしかありません。

【武者小路実篤について】小説家・詩人・劇作家・画家。貴族院勅選議員。華族の出で、トルストイに傾倒し、『白樺』創刊に参加。天衣無縫の文体で人道主義文学を創造し、「新しき村」を建設して実践運動を行った。伝記や美術論も数多い。姓の武者小路は本来「むしゃのこうじ」と読むが、実篤は「むしゃこうじ」に読み方を変更した。しかし、一般には「むしゃのこうじ」で普及しており、本人も誤りだと糺すことはなかったという。仲間からは「武者」(ムシャ)の愛称で呼ばれた。文化勲章受章。名誉都民。日本芸術院会員。贈従三位。(参考:「Wikipedia」より)

### 5 今週の話成語・・・「千里眼」【問題】「」を英語で表現すると？

千里も先のことまで知ることのできる能力(がある人)。人の心をさぐりあてる能力(をもつ人)。(出典:『魏書』「楊逸伝」より)



【由来】千里眼とは、中国の歴史書のなかの楊逸(よういつ)という長官の話から成ったことばだとされています。楊逸という長官が、ある土地に赴任された際、お上の虎の威を借る役人をスパイを使って監視していたようです。しばらくすると、甘い蜜を吸っていたはずの役人が大人しくなり、理由を聞くと「長官は千里眼を持つ。何でもお見通しだ」と恐れたそうです。そこから、目に見えない土地の出来事や未来、人の心のなかさえも見抜く能力を「千里眼」として用いられました。

### 6 入試によく出る漢字(その67)・・・九州大学二次試験(2012年度入試)に挑戦!

- (1) 汚いものや危ないものはシュウトウに排除されており、
- (2) 「ぶす」のふたを開けてしまいます。そこから漂うホウコウにつられて
- (3) 始末にキュウした太郎冠者は一計を案じ
- (4) 太郎冠者の完全犯罪はジョウジュしません。
- (5) 主人を内心アナドっているために
- (6) いくらかジョウチョウな人稱指示詞の使用によって
- (7) 各連がトウトツに終わっており
- (8) 国家の究極の法主体にヒツテキする。
- (9) 誘惑には決してクツクさせない
- (10) 死者のチンモクを守る

## 7 今週の一冊・・・永松茂久の『喜ばれる人になりなさい』（すばる舎）です。

人生で大切なことは、母から繰り返し言われた「この一言」だった——。3坪のたこ焼き屋から、口コミだけで県外から毎年1万人を集める大繁盛店を作り、2020年のビジネス書年間ランキングでも日本一に輝いた著者が贈る、母から学んだ、人生で大切な「たった1つ」の教え。学びあり、青春あり、涙あり、感動ありの成長物語。母と子、父と子、愛情、友情、師弟、家族、仕事の真髓が凝縮された、長編ノンフィクション。今の時代だからこそ読みたい、読むだけで自己肯定感が上がり、誰かのために何かをしたくなる、優しく懐かしくて温かい一冊です。

(参考：本書裏表紙説明より)

母が残してくれた、  
たった1つの大切なこと

喜ばれる人  
になりなさい

永松茂久  
Nagatsuna Shigehisa

編集者が  
5回泣いた。

人は話し方が9割  
成功の9割は感動の奇跡

—読み終えた瞬間、  
お母さんに電話したくなる本—

【解説】2019年に出版された『人は話し方が9割』というビジネス書が100万部を超えるミリオンセラーとなり、一躍時の人となった永松茂久氏。彼の人生哲学の基ともなった「喜ばれる人になりなさい」というメッセージを残して逝った母や家族との物語が綴られたノンフィクション作品です。わずか3坪のたこ焼き屋から始まった永松氏の波乱万丈の人生が切々と語られています。親子関係で悩んでいる若者や保護者の方いづれにもお薦めしたい一冊です。『人は話し方が9割』も読んでみたくになりました。

【作者・永松茂久について】株式会社人財育成JAPAN代表取締役。大分県中津市生まれ。2001年、わずか3坪のたこ焼きの行商から商売を始め、2003年に開店したダイニング陽なた家は、口コミだけで県外から毎年1万人を集める大繁盛店になる。自身の経験をもとに体系化した「一流の人材を集めるのではなく、今いる人間を一流にする」というコンセプトのユニークな人材育成法には定評があり、全国で多くの講演、セミナーを実施。「人の在り方」を伝えるニューリーダーとして、多くの若者から圧倒的な支持を得ており、講演の累計動員数は延べ45万人にのぼる。2016年より、拠点を東京麻布に移し、現在は執筆だけではなく、次世代育成スクールである永松塾、出版コンサルティング、イベント主催、映像編集、ブランディングプロデュースなど数々の事業を展開する実業家である。著書に『人は話し方が9割』、『30代を無駄に生きるな』『20代を無駄に生きるな』など多数あり。

## 8 世界遺産を巡る・・・第92回はウエストミンスター宮殿、ウエストミンスター大寺院及び聖マーガレット教会(イギリス)

(登録：1987年)

【解説】「ウエストミンスター宮殿、ウエストミンスター大寺院及び聖マーガレット教会」はイギリスのロンドンにある世界遺産。ビッグ・ベンの愛称で知られる有名な時計塔も併設されている「ウエストミンスター宮殿」は、一度は見たことのある人が多いと思います。ウエストミンスター宮殿・ウエストミンスター大寺院・聖マーガレット教会、それぞれご紹介します！国王の戴冠式やロイヤルウェディングの舞台ともなるウエストミンスター寺院は、11世紀に修道院として建てられ、幾度も改築を重ねて世界でも有数のゴシック建築の大伽藍になりました。ローマ・カトリックのウエストミンスター大聖堂(カテドラル)に対し、こちらは英国国教会の格式ある僧院(アビー)です。ウエストミンスター大寺院と同じ敷地内にある聖マーガレット教会は、イングランド国教会の教会です。最初の教会は12世紀にベネディクト会派聖職者によって建てられました。フランドル製ステンドグラスが有名で、あのウィンストン・チャーチルもここで挙式しています。(参考:「世界遺産人気ランキング」より)



## 9 街角グルメを訪ねて・・・第92回は嬉野市の「須弥山ラーメン 塩の宴」です。

新しくなった嬉野医療センターでの外来診察の帰りに立ち寄ったラーメン店『須弥山らーめん塩の宴』を紹介します。店名からも窺えるように、こだわりのラーメン店の佇まいのお店でした。「九州風塩ラーメン」を謳っており、塩ラーメン専門店です。定期的に新作らーめんを出されているそうです。「須弥山」とは、古代インドの世界観が仏教に取り入れられたもので、世界の中心にそびえるという高山を指します。なぜこの店名なのかはわかりませんが、一般的な白濁した豚骨ラーメンと違う味をお求めの人にはお勧めしたい一杯です。この日は「柚子塩ラーメン」(700円)を注文。



澄んだスープに柚子の香りがさわやかな仕上がりとなっています。この日は御飯類が終了していましたが、挽肉とキャベツの千切りサラダを乗せた「須弥山ライス」(650円)も人気メニューのようです。営業時間は、昼は11:45～14:00、夜は18:00～21:30となっていますが、スープがなくなり次第閉店となっていました。駐車スペースは5台分ほどありますが、駐車テクニックを必要とします。住所は、嬉野町大字岩屋川内甲403-1です。

## 10 保護者の皆様へ・・・受験の宿の手配はできていますか？

3年生の大学受験の出願手続きは終わりましたでしょうか。県外の大学を受験する場合は、次の作業として、受験地までの交通機関(飛行機・新幹線)と宿泊ホテル等の手配が必要になります。様々なイベントが有観客で開催されていますので、プロ野球・Jリーグのキャンプや各種コンサート等で大勢の観客が宿泊ホテルを占有する可能性もありますので、早めのご予約をお勧めします。特に宮崎は「侍Japan」のキャンプ地にもなっていますので、お早めに手配を。

【英語】◇千里眼 clairvoyance; 《see something by》 second sight 〈人〉 a clairvoyant (男); a clairvoyante (女)  
◇千里眼の clairvoyant.

【正解】(1)周到(2)芳香(3)窮した(4)成就(5)悔って(6)冗長(7)唐突  
(8)匹敵(9)屈服(10)沈黙